

第3学年 国語科学習指導案

指導者 2組 小松 貴恵【公開授業Ⅰ】
男子14名 女子18名 計32名
1組 森谷 聡【公開授業Ⅱ】
男子15名 女子17名 計32名

- 1 単元名 せつめいのくふうについて話し合おう
教材名 「すがたをかえる大豆」(光村図書 3年下)

2 単元について

(1) 児童について

これまで本学年の児童は、「初め」「中」「終わり」の構成を捉えて考える学習は繰り返し行ってきた。1学期教材「言葉で遊ぼう」では、初めて「段落」の意味や働きについて学び、各段落の内容を読み取りながら「初め」に問い、「中」で事例を挙げながら問いの答えの説明、「終わり」に全体のまとめが記されていることを捉える学習を行った。続く「こまを楽しむ」では、自分たちで「初め」「中」「終わり」の構成を捉えることができた。交流学习では、各自の考えや感想を聞き合って自分の考えを深めたり、グループで話し合っ一つの考えにまとめたりする活動を行ってきた。意識調査ではペアやグループ交流が好きという児童が昨年度87%から今年度97%に増え、交流の方法が分かり、意欲的に自分の考えを話したり、友達の考えを熱心に聞いたりできるようになってきた。

(2) 教材について

第3学年及び第4学年の「C読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心を捉えたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」ことである。本教材は、大豆をおいしく食べるための工夫を5つの事例を挙げて説明している解説型の文章である。「初め」「中」「終わり」の構成で、「中」に事例が列挙されており、「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」の学習を生かして全体の組立を読み取ることができる。その中で、「初め」に「問い」が示されていないことから既習の教材との違いを考えることによって、話題提示という「初め」の新たな役割を捉えることができる。また「中」では、段落の初めの言葉に着目したり、中心文を捉えたりすることで事例提示の順序の工夫を考えることができ、各段落内の文と文のつながりも同じ構成になっている。さらに、事例ごとに文章に対応するように写真が提示されており、読み手に内容を分かりやすく伝えるための様々な工夫がなされている。これらの表現の工夫は、今後の表現活動に生かしていくことができるものである。

以上のことから、段落相互の関係を捉えながら読む力を育てることに適した教材であるといえる。題材に取り上げた「大豆」は児童にとっても身近な食品であるが、その加工食品は見ただけでは原料が大豆だとは分からないものがあり、児童は驚きを感じるとともに昔の人々の知恵に感心させられるものとする。本教材の学習は、他の食材や日本の食文化に関心をもつ機会になり得るものであり、食育という観点からも貴重な教材である。

(3) 指導について

本単元で付けたい力は、「中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解する力」である。また、この力が自分の表現活動に活用できるように「説明の工夫について話し合う」言語活動を設定した。まずは、大豆を使った食品を知ることで大豆に関心をもたせる。また、自分が大豆を使った食品を紹介するとしたら、どの順序で説明するか考える活動を行い、説明の工夫に関心をもたせていきたい。そして、「初め」「中」

「終わり」の全体の組み立てを読み取り、大まかな内容と役割を捉えさせる。その際には、「初め」は「問い」でなく「話題提示」になっていることを知り、そこから「大豆をおいしく食べる工夫にはどのようなものがあるのだろう。」という問いを導き出し、読みの目的をもたせていく。そして、「中」の各段落内では、初めの文が中心文、その後に事例を挙げるという順序で説明されていることをおさえながら、「大豆をおいしく食べるための工夫」を読み取っていく。また、写真を使うと分かりやすく説明できることにも触れていく。事例がどんな順序で紹介されているかを考える学習では、段落の初めの言葉や中心文に着目しながら考えさせ、筆者の説明の工夫に気付かせていく。「終わり」では、筆者が伝えたかったことを理解し、「すがたをかえる大豆」にこめた願いを捉えさせていく。

学習の振り返りをする時には、その時間に自分が考えたこと、気付いたこと、分かったこと、また、疑問や次時で考えたいことや頑張りたいことを書かせていきたい。その際に、誰のどんな考えによって自分の考えが変わったかという視点ももたせたい。

本単元では他の考えを聞くことで新たな気づきを生み出したり、自分の考えを捉え直したりすることをねらいとしてグループ交流と全体交流を設定している。グループ交流では、課題に関わる内容についての自分の考えを交流し、友達は何を伝えたいのか注意深く聞いたり、友達の考えのよさに気付いたりすることを意識させたい。また、そのことを通して自分の考えを広げ深める活動ができるようにつなげていきたい。全体交流では、それぞれのグループから出された考えをもとにさらに交流することで、より深い読みになるようにさせたい。さらに、本文の組立や内容を捉える場面では、自分の考えを広げるためにペアでの交流も取り入れたい。

3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	○ 大豆をおいしく食べるための工夫についてどのように説明されているのか、関心をもって読もうとすることができる。	○ 大豆が様々な食品になることを知り、説明の工夫を考えようとしている。
読む能力	◎ 「初め」「中」「終わり」の全体の組み立てや、中心となる文に着目し段落相互の関係を捉えることができる。【読(1)イ】 ○ 大事な言葉や文に注意しながら読むことができる。【読(1)エ】 ○ 文章を読んで考えたことを適切な言葉で発表し合い、一人一人の捉え方の違いに気付くことができる。【読(1)オ】	○ 各段落の中心になる文を見極め、そこから段落相互の関係を理解している。 ○ 紹介されている大豆や加工食品について事例が提示されている順序、さらには筆者が大豆を紹介することにした理由を読み取っている。 ○ 自分の考えを交流し、一人一人の捉え方の違いに気付いている。
言語についての知識・理解・技能	○ 指示語や接続語には、文章の論理的な関係を作る働きがあることを理解することができる。【伝国(1)イ(ク)】	○ 指示語と接続語に着目し、文章の論理構成を捉える手掛かりとしている。

4 単元の指導計画と評価規準（全7時間）

時間	学習活動	評価規準	主な交流活動
1	(1) 大豆を使った食品について知る。次に全体を通読しておおまかな内容を捉える。最後には、学習課題を確かめ、学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> 大豆が様々な食品になることを知り、説明の工夫を考えようとしている。 【関・意・態】 文章を通読して、おおまかな内容を捉えている。 【読(1)エ】 	<ul style="list-style-type: none"> ペア交流をして、大豆の食べ方の種類を出し合う。また、読んだ感想をグループ交流で伝え合う。
2	(2) 段落分けを確かめ、文章全体の組立を捉える。また、「初め」と「終わり」を読んで、内容を捉える。また、問いの文について考える。	<ul style="list-style-type: none"> 「初め」「中」「終わり」の全体構成と各部分のおおまかな内容と役割を捉えている。 【読(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> 「初め」「中」「終わり」の分け方を考え合う。
3 4	(3)(4) 事例や言葉に注意して「中」を詳しく読み、内容をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 「中」の段落の内容を読み取り、食べ方の工夫をまとめる。 【読(1)イ】 【伝国(1)イ(ク)】 	<ul style="list-style-type: none"> グループ交流をし、「中」の段落の食べ方の工夫をまとめる。
5	(5) 事例の説明の順序について考え、説明の工夫に気付く。 【3年2組公開授業Ⅰ】	<ul style="list-style-type: none"> 段落の中心となる文に目を付けて、大豆をおいしく食べるための工夫がどんな順序で紹介されているかを考える。 【読(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> 大豆をおいしく食べる順序で紹介されているかをグループ交流、全体交流する。
6	(6) 筆者の伝えたいことを捉える。 【3年1組公開授業Ⅱ】	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の伝えたいことを考えながら、大豆の素晴らしさや昔の人々の知恵について交流する。 【読(1)エ】 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が伝えたいことをグループ交流、全体交流する。
7	(7) 筆者に手紙を書き、筆者が「伝えなかった」ことに対して自分の意見や感想を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで考えたことを適切な言葉で発表し合い、一人一人の捉え方の違いに。 【読(1)オ】 	

5-1 本時の指導（5/7時間）

【3年2組公開授業Ⅰ】

(1) 目標

大豆をおいしく食べるための工夫がどんな順序で紹介されているかを考える。

(2) 本時の評価の観点と評価規準

観点	評価規準	概ね満足できる	支援を要する児童への手立て
	段落の中心となる文に目をつけて、大豆をおいしく食べるための工夫がどんな順序で紹介されているかを考える。 【読む能力】	段落の初めの言葉や加工の仕方に着目し、そこから理由や根拠をあげて説明している。 (例)大豆の手のくわえ方が分かりやすい順にならんでいると思います。	段落相互の関係やつなぎ言葉に着目させるだけでなく、写真にも目を向けさせ、どのような変化があるのかについて考えさせていく。

(3) 研究仮説に関わって

＜学習課題の解決に向けて、子供たちが意欲的に交流する場や方法の工夫＞

本時では、「大豆をおいしく食べるための工夫がどんな順序で紹介されているかを考える」ために、グループ交流と全体交流を行う。

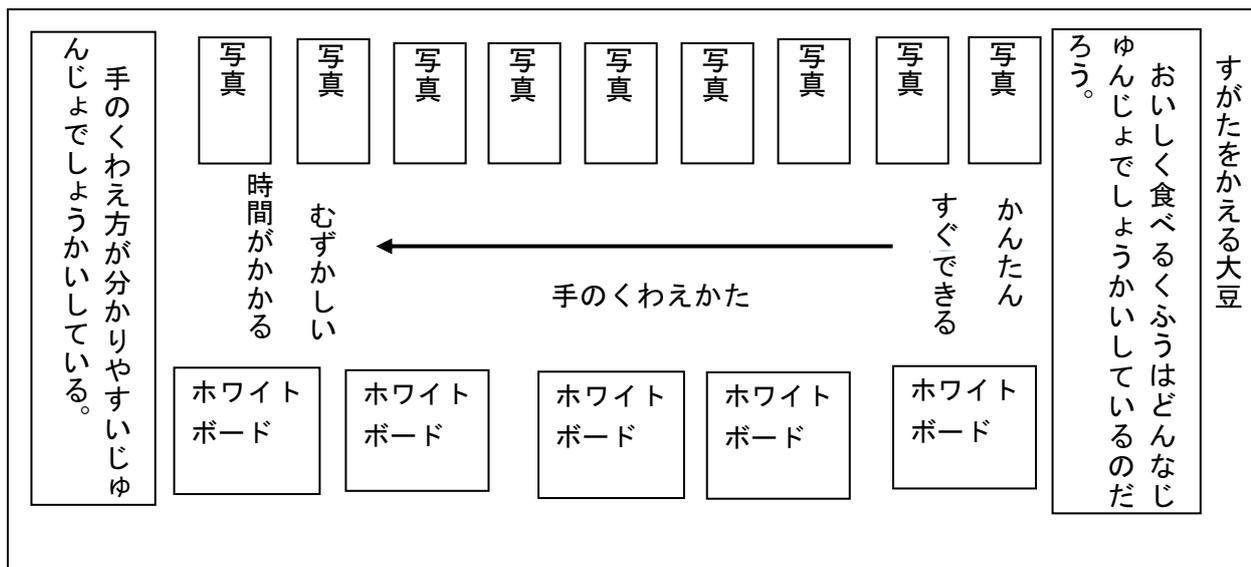
グループ交流では、司会者を立て「話し合いの進め方シート」を参考に一人一人が「どうしてその順序なのかとその理由」を発表し、ホワイトボードにまとめて記入する。その後の全体交流では、それぞれのグループから出された考えをもとに交流し、順序の工夫について考えていく。

(4) 展開

段階	学 習 活 動 (○主な発問, ◇期待する児童の反応)	指導上の留意点(・) 評価(□) 交流活動(☆)
導入 8分	① 前時の学習を想起する。 ② 1時間目にそれぞれが考えた紹介したい順番と、本文の順序を比べる。 ③ 本時の目標をつかむ。	・ 段落ごとの内容を整理したものを教室に掲示し、これまでの学習の想起に生かせるようにする。 ・ 「見た目が大豆に近いもの」という理由だけで並んでいないということに気が付かせるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> おいしく食べるくふうは、どんな順序で紹介しているのだろう。 </div>		

<p>展 開 3 0 分</p>	<p>④ 順序の工夫を考える。</p> <p>ア 各自、順序の工夫を考えノートに書く。</p> <p>○ 国分さんは、5つの例をなぜこの順序で紹介したのでしょうか。</p> <p>◇ だんだん作り方が難しくなっているのではないか。</p> <p>◇ 作る時間がどんどん長くなっているのではないか。</p> <p>◇ 大豆にいろいろなものを加えているのではないか。</p> <p>イ 考えの交流を行い、グループごとに筆者の考えをまとめる。</p> <p>ウ グループごとに順序の工夫を発表し、まとめる。</p> <p>◇ 大豆のすがたが分かりやすい順序に並んでいると思います。</p> <p>◇ すがたを変えるまでにかかる時間が短い順序に並んでいると思います。</p> <p>⑤ えだ豆ともやしを最後にもってきた理由を考える。</p> <p>⑥ 学習のまとめをする。</p>	<p>・ 考えをもてない児童には、「いちばん分かりやすいのは」と2段落とのつながりについて考えさせる。</p> <p>□ 手の加え方を読み取りながら、どんな順序で紹介されているか考える。 (ノート)</p> <p>☆ 司会者を中心に4人グループで考えを交流し、順序の工夫を考え、ホワイトボードにまとめる。</p> <p>・ 交流では、自分の考えを出し合い、グループとして「似たような考え」「違う考え」を整理していきながら順序の理由をまとめさせていく。</p> <p>☆ 全体交流で考えを出し合う。</p>
<p>手のくわえ方が分かりやすい順序で紹介している。</p>		
<p>終 末 7 分</p>	<p>⑦ 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>○ 順序の工夫について考え、まとめました。今日の学習を振り返って、気付いたことや考えたことを書きましょう。</p> <p>◇ 段落の初めにある、「つなぎ言葉」に気を付けて読むとよいことに気が付きました。</p> <p>◇ 友達の考えを聞いて、新しい考え方をを見つけることができました。</p> <p>⑧ 次時の学習内容を確認する。</p> <p>○ 次の時間は、国分さんが「すがたをかえる大豆」を書いた理由を考えましょう。</p>	<p>・ みんなで考えた順序の工夫や、交流したことについて、気付いたことや考えたことを振り返りとして書かせる。</p>

(5) 板書計画



5-2 本時の指導(6/7時間)

【3年1組公開授業Ⅱ】

(1) 目標

作品にこめられた筆者の伝えたいことを捉えることができる。

(2) 本時の評価の観点と評価規準

観点	評価規準	概ね満足できる	支援を要する児童への手立て
	筆者の伝えたいことを考えながら、大豆の素晴らしさや昔の人々の知恵について話し合う。 【読む能力】	昔から人々は大豆の食べ方を工夫したり、大豆の良いところに気付いていたたりしていたことを捉えて「筆者の伝えたいこと」を書いている。 (例)「大豆のよいところ」は全体をまとめているから。	大豆のいろいろな食べ方や、昔から人々の知恵でたくさん工夫があることを知ったことを確認させる。また、グループ交流で友達の考えを聞いて、筆者の「伝えたいこと」を捉えさせていく。

(3) 研究仮説に関わって

<学習課題の解決に向けて、子供たちが意欲的に交流する場や方法の工夫>

本時では、「筆者の伝えたかったことを捉える」ために、グループ交流と全体交流を行う。

グループ交流では、司会者を立て、話し合いの進め方シートを参考にして、一人ひとりが「8段落の4文のうち、どの言葉が心に残ったか」を発表しホワイトボードに記入する。その後の全体交流では、それぞれのグループから出された考えをもとに交流し、筆者の伝えたかったことについて文章をもとに考えていく。さらに、筆者から手紙を頂いたので紹介し、筆者をより身近に感じさせ、「子供たちがこの思いを共有してくれるかどうか不安」と語る筆者に「思いの共有」に対する手紙を書く活動につなげる。この活動が、「深い学び」につながっていく。

(4) 展開

段階	学 習 活 動 (○主な発問, ◇期待する児童の反応)	指導上の留意点(・)評価(□) 交流活動(☆)
導入 5分	<p>① 説明文について想起する。</p> <p>○ 説明文とは、どんなことが書かれた文章でしたか。</p> <p>◇ 筆者がおどろいたことや伝えたいことを書いた文章です。</p> <p>② 本時の目標をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 国分さんの伝えたかったことを考えよう。 </div> <p>③ 筆者を身近に感じる。</p> <p>○ 筆者に今日の課題をたずねたら、返事が返ってきました。どんな返事が書いてあるか、後で紹介します。</p>	<p>・ 説明文についてのまとめを教室に掲示し、これまでの学習の想起に生かせるようにする。</p> <p>・ 「すがたをかえる大豆」をはじめ、中、終わりのまとまりで読み取ってきたが、本時ではこの作品で筆者が伝えたかったことについて考えることを確認する。</p> <p>・ 筆者から、3年1組あてに手紙が来ていること、後半でそれを紹介することを知らせる。</p>

展開
30分

- ④ 「終わり」の段落を読み、筆者が伝えたかったことを確かめる。
- 筆者が伝えたかったことがまとめて書いてある文を読みます。何段落ですか。文は何文ありますか。
 - ◇ 第8段落のところですか。4文です。
- ⑤ 自分の考えを高めるために、筆者の伝えたかったこととまとめる。
- 筆者の伝えたかったことは、どんなことでしたか。
 - ア 各自、筆者の伝えたかったことを考えるために、言葉と選んだ理由をノートに書く。
 - ◇ 大豆は味もよい。
 - ◇ たくさんのえいようをふくんでいることを伝えたかったから。
 - ◇ 「大豆のよいところ」は、全体をまとめているから。
 - ◇ 昔の人々のちえにおどろいたことを最後に書いているから。
 - イ 考えの交流を行い、グループごとに筆者の伝えたいこと、選んだ根拠について考える。
 - ウ いくつかのグループを指名して意見の理由を発表させ、全体でまとめる。
 - ◇ 大豆は味もよくたくさんのえいようをふくんでいることは、大豆のよさだと思う。
 - ◇ 昔の人々のちえにおどろいたことは、「はじめ」と「おわり」のどちらにも書いているから伝えたかったことだと思う。

- ・ まとめの部分に当たる段落を読み、筆者が伝えたいことに気を付けて読むことを確認する。
 - ・ 「このように～」のつなぎ言葉はこれまでのまとめをする役割があることを確認する。
- 文章をもとに筆者の伝えたいことの要点を捉えている。(ノート)
- ・ 8段落の4文を使うこと、自分が心に残った言葉を選ぶこと、その理由も書くことを指示する。
- ☆ 4人グループで考えを交流し、筆者の伝えたいことを話し合い、そのグループとしての筆者の伝えたかったことをまとめる。
- ・ それぞれのグループから出されたことをもとに、筆者の「伝えたいこと」について共有する。
 - ・ 意見を大豆の良さと昔の人々の知恵に分けていく。

国分さんは大豆のよさや昔の人々のちえにおどろいたことを伝えたかった。

	<p>⑥ 筆者の伝えたいことを聞く。 「単に多様な食べ方があることを説明するだけでなく、その背景には先人の知恵と工夫が詰まっていることを理解して欲しいとの思いがあって、最後の文を入れた。みんなに思いが届いたか不安。」 (概要)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者からの手紙を読み、「伝えたいこと」を確認する。
<p>終末 10分</p>	<p>⑦ 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 筆者の伝えたいことについてみんなで考え、まとめました。今日の授業をふり返って、気付いたことや考えたことを書きましょう。 ◇ 昔の人々のちえのおかげで、こんなにも大豆の食べ方があるとおどろいた。国分さんの思いも分かった。 <p>⑧ 次時の学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次の時間は、みんなに「すがたをかえる大豆」が、どのように伝わったか国分さんに手紙を書きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで考えた筆者の「伝えたいこと」や、交流したことについて、気付いたことや次に伝えたいことを振り返りとして書かせる。

(5) 板書計画

<p>国分さんは大豆の良さや昔の人々のちえにおどろいたことを伝えたかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大豆が「味もよくたくさんのをふくむこと、育てやすく多くのちえを植えられてことを伝えたかった。 ・ 昔の人々のちえにおどろいたことを伝えたかった。 	ホワイトボード	<p>⑧段落の本文の拡大文章</p>	<p>すがたをかえる大豆 国分さんの伝えたかったことを考えよう。</p>							
---	---	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------------------	--